

# 殺虫剤

ペルメトリン粒剤

# ガードベイト® A

有効成分：ペルメトリン・・・・・・0.1%

農林水産省登録 第 20919 号

性状：淡赤色粒状

毒性：普通物

(毒劇物に該当しないものを指している通称)

有効年限：4年

包装：2kg × 8



ガードベイト®はサンケイ化学㈱の登録商標です。

## 特長

- 本剤は、合成ピレスロイド剤のペルメトリンを有効成分とするベイト剤で、ネキリムシに対し優れた殺虫効果と、被害防止効果を持つ薬剤です。
- 処理したところがよく分かる赤色ベイトです。

## 適用病害虫名および使用方法

作物名	適用病害虫名	10アール当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ペルメトリンを含む 農薬の総使用回数
はくさい ごぼう	ネキリムシ類	3kg	は種時～ 生育初期	5回以内	株元散布	5回以内
だいこん				4回以内		4回以内
キャベツ			生育初期	5回以内		5回以内 (株元灌注は 2回以内)
レタス ブロッコリー カリフラワー				5回以内		5回以内
なす トマト				3回以内		3回以内
ミニトマト				1回		1回
かぶ			収穫3日前 まで	4回以内		4回以内
にら にら(花茎)				3回以内		3回以内
ズッキーニ			生育初期但し 収穫7日前まで	3回以内		6回以内 (乳剤は3回以内、 粒剤は3回以内)
にんじん				生育初期		5回以内
ピーマン いちご たまねぎ かんしょ やまのいも さといも かぼちゃ			5回以内			5回以内
ほうれんそう しゅんぎく			2回以内			2回以内
とうもろこし ばれいしょ			4回以内			4回以内
ねぎ わけぎ あさつき そらまめ だいず きゅうり			3回以内			3回以内
なばな類			3回以内			3回以内

作物名	適用病害虫名	10 アール当たり 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ペルメトリンを含む 農薬の総使用回数
オクラ	ネキリムシ類	3kg	は種時～ 生育初期	3回以内	株元散布	3回以内
豆類(未成熟)			生育初期			
とうがらし類			収穫7日前まで	2回以内		2回以内
しょうが			定植時～発芽期 但し収穫120日 前まで	4回以内		4回以内
葉しょうが			生育初期 但し収穫30日 前まで	4回以内		4回以内
アスパラガス パセリ			収穫前日まで	3回以内		3回以内
エンダイブ			定植時 但し収穫21日 前まで	2回以内		2回以内
にんにく			生育初期 但し収穫90日 前まで			4回以内 (乳剤は2回以内、 粒剤は2回以内)
もりあざみ			生育初期 但し収穫7日 前まで	3回以内		3回以内
エンサイ			生育初期 但し収穫14日 前まで	2回以内		2回以内
飼料用とうもろこし (青刈り) ヤングコーン			生育初期 但し収穫14日 前まで	4回以内		4回以内
いんちんこう			収穫30日前 まで	3回以内		3回以内
食用おそばこ (種子)			収穫7日前まで			3回以内
はっか			収穫前日まで	2回以内		2回以内
しそ			収穫7日前まで	2回以内		4回以内 (乳剤は2回以内 粒剤は2回以内)
らっかせい			収穫7日前まで	3回以内		3回以内
びゃくし			収穫30日前 まで	4回以内		4回以内
花き類・観葉植物			生育初期	6回以内		6回以内
たばこ			定植時	1回		1回

## 使用上の注意事項

- 作物体上からの作物の地際の表面に散布してください。
- 蚕に長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、付近の桑に付着する恐れのある場所では使用しないでください。
- ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないよう注意してください。特に適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用しり場合は、使用者の責任において事前に被害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

## 安全使用上の注意事項

- 誤食などのないように注意してください。
- 誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けてください。
- 本剤使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当を受けてください。
- 散布の際は、マスク、手袋などをしてください。  
また、粉末を吸い込んだり浴びたりしないように注意し、作業後は手足、顔などを石けんをよく洗い、うがいをしてください。
- 本剤による中毒の治療法としては動物実験でメトカルバモール製剤の投与が有効であると報告されています。
- 犬、猫などのペット類や家畜、家禽等が誤食するおそれがあるので、食べる可能性のある場所での保管及び使用はしないでください。